

2026年
5月1日
第4号

ほくとぴあ

第31回全国交流集会
東京現地実行委員会ニュース
発行責任者 高井 豊治
編集責任者 古城 育子

継続は力、次世代とともに創り、次への一歩へ

初の試み 力を合わせて

東京ブロック 文化発表班 田口勝義

高松での第30回全国交流集会で東京ブロックの文化発表は、東京が6県協に分かれて20周年の記念集会を行った時の映像を通して、経過と決意表明を発表しました。

それを受けて今回の文化発表を考え、6県協（東部・西部・南部・北部・中部・三多摩）の一年間の運動の実態を「写真スライドショー」で表現することとしました。理由は、スローガンにあるように、全国の仲間たちへ、次世代と共に創ることへの悩みも含め、東京の実態を示したいという思いです。さらに文化発表作成が一部の会員のみではなく、みんなで創り共通性を持たせたいと考えました。各県協からスタッフを集め議論し進めていく事が初めての経験で、手探りでしたが全国交流集会の成功に向け、東京6県協一丸となり取り組みを進めています。

「走れば回る風車」ということで、スライドで見て頂き、全国の仲間とともに頑張る決意です。乞うご期待下さい。

第31回全国交流集会
現地実行委員会キャラクター



MANARAN Tシャツを着た吉田副会長



東京ブロック
現地実行委員会
文化発表班 会議にて

東京観光No.3 「高麗博物館」(こうらい) 市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館

相互の歴史・文化を 学び、理解して、友好を深めることを目指している。

入館料 大人500円 JR 新大久保駅から徒歩10分

東京中部県協

“11人全員で全国交流集会を創る”

東京中部県協は、具体的方針として、「会員同士がお互いに知り合う」「社会情勢を深く学びあう」「楽しい・美味しい」を意識しながら日々活動を続けています。討論の場では各々の考えを率直に出しあうため、ぶつかることもあります。しかし、「分かり合えるまで対話を続けること」をあきらめず、頑張っています。第31回全国交流集会は東京開催ということもあり、11人全員が役を担うことにしました。文化発表担当は集会やレクその他、個々に訪れた場所で撮った写真等をコツコツと集め、編集作業を進めています。合唱担当も合同練習や個人練習にいそしんでいます。参加目標は14人です。目標達成を目指して頑張っています！



東京三多摩県協

“仲間と8年ぶりの再会が楽しみ”

昨年の全国交流集会は、高松ということもあって2名の参加でした。今年は地元開催なので3名の参加を予定していて、全員現地実行委員となり成功に向けて努力しています。

東京三多摩は東京の中でも一番小さい県協ですが、新しい仲間を交えた学習会を展開していて、さらに広く仲間を結集するのが当面の課題です。地元には米軍横田基地があり飛行差し止め訴訟に関わる仲間もいて、学習会と結びつけることも大事だと感じています。

また退職後熊本に帰り、地元で友の会活動に尽力している右田さんと8年ぶりに再会することも楽しみにしています。



三多摩県協 三役

東京観光No.4

「お札と切手の博物館」

紙幣の歴史を知る！そして

一億円の重さ体験できます！！

入館料 無料 JR王子駅から徒歩3分



一億円だー!!
この重さを感じて
ください

現地実行委員会ニュース

6月13日の夕飯について、2月28日の県代表者会議で「お店一覧」をお配りしました。お店についても地図上の位置についても、参考とお考え下さい。事前にネット等でお調べの上、予約等を行って下さい。20時から各ブロック・県協ごとに遅い夕食となります。小腹が空いたりしますが、各自各県協での対応をお願い致します。